

学校だより

令和6年1月22日

南砺市立井波小学校

1月号 第352号

井波小学校HPアドレス
<https://inami-e.nanto.ed.jp/>



いなみっ子

(題字は県書き初め大会出場予定児童)

学校での学び

教頭 久田 潤

1月1日の夕方に令和6年能登半島地震が起きました。能登半島を始め、県内でも氷見市や高岡市を中心に大きな被害がありました。南砺市でも揺れが大きく、各家庭も被害に遭われたのではないのでしょうか。

井波小学校は平成18年に耐震工事を終えており、校舎に大きな被害はありませんでしたが、体育館の断熱材が剥がれ落ちたり、給食室の配管を止めているビスが抜け落ちたりする被害がありました。また、校舎と校舎のつなぎ目にあったジョイント部分が曲がったり広がったりしたための補修工事が必要となりました。被災地域からの報道を目の当たりにし、子供たちが普段通りの学校生活ができることは幸せなことだと感じています。

さて、地震の際の子供たちの様子はどうだったのでしょうか。学校では、地震に対する避難訓練も行い、机等の頑丈なもの下にもぐることを指導しています。家屋が倒壊した様子を見ると、その行動の重要性を感じます。しかし、私自身は地震の際に大きく揺れるテレビを押さえていました。近くにいた家族も、おどおどするばかりで自分の身を守る行動ができていたとは言えません。学校で学んでいることが、実際に生かされる教育でなければ意味がないと思いました。

子供たちは学校で様々なことを学びます。教科の内容はもちろん、社会性の基礎としての挨拶や話し方と人との関わり方、健康や安全な暮らしの知識なども学びます。学びが生きる教育を目指して、さまざまな体験ができるよう支援したいと考えています。



<箏演奏体験>

「今日も楽しみだね。」

給食主任 本田 千尋

毎朝、教室に向かう途中、階段の踊り場にある食育コーナーで立ち止まります。そして、献立表やポスターを眺めて、「給食を楽しみにがんばろう」と思います。給食は私の心の支えのひとつなのです。クラスの中からも、毎日必ず給食の献立についての話題が聞こえてきます。「今日の給食は何かな。」「今日のメニューは好きなものばかりだ。」「今週、アーモンドトースト出るって!」「山野で育てた里芋だって。おいしいね。」給食に関わる方たちが手間暇掛けてくださったいろいろな料理や食材が出てくるので、子供たちも私と同じく給食を楽しみにしているのでしょう。もちろん、苦手な食材に苦戦していることもあります。給食ではできるだけ食べきるようにしている」という様子が見られます。

今年度は、給食委員会の子供たちと好きな給食のメニューを選ぶことができる「セレクト給食」を実施しました。準備の際に栄養教諭から、「①主菜について肉か魚かを選ぶ」「②デザート2種類から選ぶ」のどちらかができると聞いた子供たちは、「全校が盛り上がるデザートのほうが、給食を楽しんでもらうという目当てにあっていると思うよ。」「アレルギーがある人もどちらとも選ぶことができるような選択肢があるものに決めよう。」と、全校の仲間たちにもっと給食を楽しんでもらうためにどうすればよいかを考えながら準備を進めました。希望調査を取ったときに、友達とどのデザートを選んだか盛り上がっていました。3学期は、学校給食週間中の感謝を伝える活動や食に関する紙芝居に取り組んでいます。子供たちの体や心を支える給食に関わってくださっている方々への感謝を忘れず給食をいただきたいと思っています。

